



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ 2009 推進ニュース —介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!—

取り組みを具体化し12月末までに500,000筆の署名を集め介護改善要求を国会に届けよう!

介護保険制度の改善、社会保障の充実を求める「介護ウェーブ2009署名」目標50万筆達成に向けて
2010年も引き続き取り組みを継続し、多くの市民に「介護改善、社会保障の充実を」訴えていこう!

12月28日現在の到達232,560筆 目標500,000万筆まであと、267,440筆

介護保険制度の改善、社会保障の充実を求める「介護ウェーブ2009署名」は、本日現在、232,560筆の集約となっており、昨年の2つの署名(417,926筆)と合わせ、この間、650,486筆の市民の声を集めてきました。

当初、12月末までに50万筆を目標に取り組んできましたが、目標達成に向けて、引き続き2010年も「介護ウェーブ2009署名」は継続します。各県連、法人・事業所段階で、創意工夫の取り組みを具体化し、取り組みを強め、2010年1月に開会される通常国会に、全国の介護改善要求を国会に届けましょう!



	署名累計	一言チラシ	学習会(回/人)			署名累計	一言チラシ	学習会(回/人)
北海道	17,901				滋賀	1,274		
青森	7,812	94			京都	4,585		
岩手	1,186				大阪	21,367		23 668
宮城	3,076	20			兵庫	14,053	14	4 192
秋田	300	2	13	162	奈良	5,620		
山形	3,464				和歌山	0		
福島	0				鳥取	1,941	137	
茨城	1,255				島根	0		
栃木	0				岡山	14,627	53	34 759
群馬	2,782				広島	4,583	9	
埼玉	17,974		20	374	山口	0		
千葉	9,682	112			徳島	2,591		
東京	22,950	50	38	981	香川	0		
神奈川	18,096	196			愛媛	2,317		5
新潟	1,718	218			高知	0		
山梨	4,163	110	1	140	福岡	6,969	779	
長野	20,655				長崎	0		
富山	0				熊本	1,398		
石川	2,735	3			大分	115		
福井	5,375	137	20	229	宮崎	1,382	9	
岐阜	2,892				鹿児島	0		
静岡	1,867				沖縄	1,673		
愛知	2,177	71			全日本	5		
三重	0				合 計	232,560	2,014	158 3,505

(2009年12月28日現在)

「今後の活動として、それぞれが企画した行動を事前に他事業所へ知らせ、共に行動をしよう」 寒風吹き荒れる中、2つの宣伝・署名行動を実施！「たこ焼き」の差し入れも（長野）



合！！この寒い中、「お客様は足を止めてくれるだろうか…」との不安もありましたが、「やるか」の一声で皆が駐車場内に散りました。「寒い中すみませ～ん」と声を掛け署名のお願いをすると、「ハイハイ」とカジカム手で署名をしてくれました。「寒い中ガンバルネ～」との声も掛けさせていただきました。寒さに耐えられず予定より少し早めに切り上げ署名の数を数えていると、「これ食え」と、1人の男性が箱を置いていかれました。中には、今の私たちのハートの様に熱いタイ焼きが入っていました。「遠慮なく頂きマ～ス」と冷えた体を温めました。また、皆で温かいコーヒーも購入し、食事会となりました。（タイ焼きを差し入れして頂いたのは H 家具屋の社長さんでした）有難うございました！署名は100筆集まりました。

塩尻の行動に続いて翌日、「ベイシア堀金店署名行動（あずみ企画）」は、昨日同様、強い寒風の中行いました。道行く方に、「手が凍えて書けない」と言われる中、「フン張り」ましたが30分で断念…。最後に思わず寒すぎて発狂していました。この日集めた署名は31筆。両日とも、寒風の中の行動でしたが、まさに今年締めの行動でした。全日本より、「現在の署名をまだ続行」との方針も出され、更に皆で取り組みが期待されます。

（中信介護ウェーブニュース 2009年12月号）

はやいもので、今年も残すところわずかとなりましたが、介護ウェーブは盛んに取り組まれています。12月に開催した「連絡会介護ウェーブ推進会議」で、「今後の活動として、それぞれが企画した行動を事前に他事業所へ知らせ、共に行動をしよう」と意思統一をしました。

早速、12月19日（土）11:30～12:30「塩尻カインズホーム署名行動（塩尻企画）」、12月20日（日）11:00～12:00「ベイシア堀金店署名行動（あずみ企画）」を行いました。

「塩尻カインズホーム署名行動（塩尻企画）」の当日は、寒風吹き荒れる中9人の職員が集



立川介護を良くする会「第4回対市介護保険制度改善要請行動」に9人が参加！ 市独自の利用料減免措置の改善や保険料の独自減免制度の復活などについて要望（東京）

立川介護を良くする会では11月20日に、立川市への「第4回介護保険制度改善要請行動」を行ないました。要請行動にはNPOあーす、健生会の職員、利用者、市会議員など9人が参加。立川市からは介護保険課長と認定係長が参加しました。良くする会・奥津会長のあいさつの後、市側からは、要望書にそって回答が出されました。以下、報告書から要請・懇談内容を紹介します。

1) 市独自の利用料軽減措置の改善について。

- (1) 利用料軽減措置の利用者は、平成19年度2件、平成20年度31件、平成21年度は10月時点で前年を上回っており50件程度になる見込みである。
- (2) この間市窓口で対応してきた内容の特徴は、①軽減相談者の生活保護への移行が増加していること。②現行規定（預貯金350万以下）内での相談がほとんどであるが、本人からの相談

よりも、**家族が支えきれず相談にみえる件数が増加**してきている。

(3) 現時点では軽減措置予算をオーバーしており、補正を組まなければならない状況となっており、預貯金要件の改善など新たな措置については現時点では困難と考えている。

2) 保険料の独自減免制度の復活について。

(1) 第4期計画で保険料の引き下げを行い、とりわけ第2・第3段階などの低所得者部分の引き下げを実施したのでこれ以上の引き下げは難しい。

3) 区分支給限度額を市独自に10%上乗せすること。

(1) 事業計画の検討委員会で、毎回利用限度額については検討している。したがって、第5期計画に向けての検討は引き続き行いたい。

(2) 制度上の利用限度額の変更はこの間実施されておらず、国に対して改善を要望している。立川市の利用率は6割程度であり、国からは①まだ利用枠を残している状況での変更はありえない。②限度額を超えるケースは介護度が適正ではないのでは、と返されている。

4) 新認定制度の再見直し後の実施状況と、10月以降の状況などについて

(1) 経過措置の実施状況（4月から9月まで）

①申請数－1258人 ②経過措置希望者数－1123人 ③希望せず－135人

○経過措置希望の1123人のうち、

①認定が軽度になった場合「従来の介護度に戻す」を希望した件数が961人

②今までより重度になった場合「従来の介護度に戻す」を希望した件数は12件

③今までより重度でも軽度でも「従来の介護度に戻す」を希望された件数が150人

○1123人の申請のうち、

①今までより軽度に判定され、従来に戻した総数は209人（18.6%/15.4%）（前回）

②今までより重度に判定され、従来に戻した総数は19人（1.7%/2.27%）（前回）

③変更なし895人（79.6%）

○以前と比較（09/3月まで）すると（出現率）、1.4%（7%）の人が軽度に認定され、28.5%（20%）の人は重度に認定されている。（ ）内は都平均

◎市の回答をうけて、以下の要望・懇談を行ないました

1) 利用料、保険料の軽減・減免制度の改善と利用限度額の10%上乗せについて、一括して要請・懇談した。

①市独自の利用料軽減の利用者が大幅に増加し、なおかつ家族からの相談増、生保への移行も増えているのは、高齢者・介護保険利用者の生活実態が益々厳しくなり、貧困問題としてあらわれている。また、要支援1・2の方の利用が特に低くなっている。改めて市独自の軽減・減免制度の改善が求められていることを要請した。 → 実態はよくわかっている。要支援1・2は、旧区分の要支援より低くなっている。

②4月の介護報酬改定の結果利用限度額を超えてしまい、サービスの時間や回数を減らして対応せざるを得ない実態を報告し、利用限度額引き上げと独自の上乗せを要望した。

→ 他市の実施状況（国立市のみ）をみても現状ではきびしい。利用者は利用限度額を超えて利用せざるを得ない状況があり、とりわけ、低所得者は大変な状況になっている。

市としても、あらためて支給限度額への助成について、予算要求してほしい。

→ 第5期事業計画でも検討したい。但し、保険料への跳ね返りも大きいため、多様な状況をふまえて検討したい。H22年には、第5期に向けたアンケート調査も予定している。

③収入が年金のみの世帯にとって貯金は最後の砦で、葬儀費用なども考えると立川市の利用料軽減の預貯金要件（350万以下）は基準が高すぎるので条件ははずしてほしい。

→ 現時点では、財政的にきびしい。

④利用率（60%）は全く利用していない人を含めた率であり実態を反映していない。 → 市としてもそう考えている。引き続き、国に要望していきたい。

2) 11月16日付けの厚労省「介護保険最新情報」の『働きながら資格をとる、介護雇用プログラム』Q&Aについて現在つかんでいる状況について教えてほしい。

→ 情報が届いているが、まだ何もつかんでいない。今後、都や国から情報をつかみたい。

3) 10月1日からの認定の実施状況について報告してほしい。

→ 10/1からの申請は487件あるが、実施直後であり、まだ新認定制度の状況はつかみきれていない。国でも検証を進めているが、市としても、今後状況をつかむ予定である。

4) ①4月の介護報酬の改定は、加算が中心でとりわけ中小事業所には恩恵が少なかった。また、加算が取れる事業所でも、利用者への影響を考えて加算を取らない事業所も多い。②介護職員処遇改善交付金についても、対象者が限定され不満が大きい。③新政権が誕生したが介護報酬改定にむけての情報などをつかんでいますか。

→ 交付金は、緊急避難的で制度上不十分さがあると承知している。介護報酬改定については、新しい情報はつかんでいない。

5) 介護保報酬引き上げと介護保険への国庫負担割合を増やすよう国に要望してほしい。

→ 調整交付金を満額の25%出してもらえば、様々な対応ができると考えている。引き続き、国に要望していきたい。

◎まとめ（市に対する要望事項）

1) 介護保険制度の改善に向けて、「会」として引き続き要望・懇談を行って行きたい。

2) 次回については、介護現場の実態や予算要望も含め2月ごろに実施したい。

（東京 介護ウェーブ2009ニュース No. 37 2009年12月24日より）

社会福祉法人やすらぎ福祉会が、みのもんたの「朝ズバ」の取材を受ける（石川）

社会福祉法人やすらぎ福祉会に、みのもんたの「朝ズバ（TBS）」が取材に入りました。酒井専務から取材内容が寄せられましたので、紹介します。以下、酒井専務からの報告です。

12月26日（土）～27日（日）に、みのもんたの「朝ズバ」の取材を受けました。12月23日に報道された介護待機者42万人問題を受けて、待機者の状況についての取材でした。待機者家族会の数名の方から、実体験を語ってもらいました。記者によると首都圏では、施設整備が本当に大変で、建てても担い手がいないためオープンもできないとか。そうこうして取材を受けたその日に、東京都から「東京都で特別養護老人ホームを整備してみませんか」と題した特養整備事業の説明会の案内の手紙が当法人にも届きました。今回の取材の模様は、2010年1月7日に放送予定と聞いていますが、どうなりますやら。以前、バンキシャ（日本TV）の取材を受け、テポドンが飛んで報道されなかつたケースもありました。（2009年12月28日 社会福祉法人やすらぎ福祉会 酒井専務より）

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp